

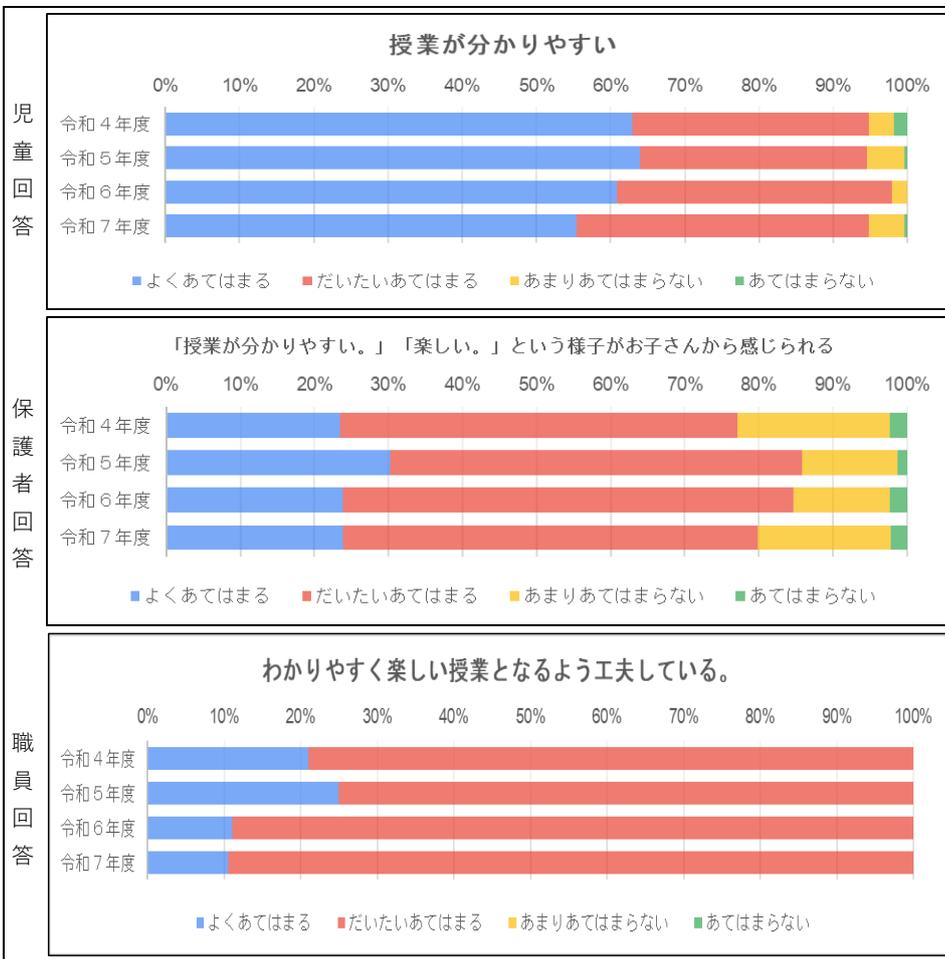
**登校について**

児童の回答は、昨年度並みで90%以上が楽しく登校することができていることが分かった。あてはまらないと答えた児童が減っているものの、10%近くの児童が楽しくないという結果となった。

保護者の回答は肯定ポイントが減る結果となった。

職員の回答では、おおむね子どもたちが楽しく過ごしているように見えている。

児童や保護者が楽しいと感じていない子どもが一定割合いることから、一人ひとりが安心して過ごせるような学校生活を送れるようにしていきたい。



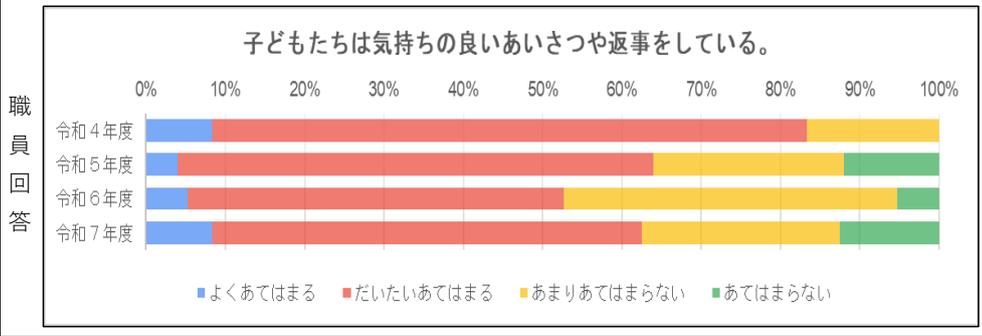
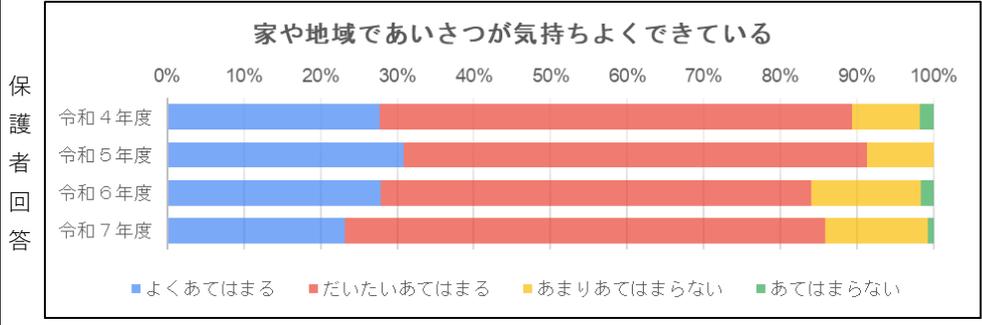
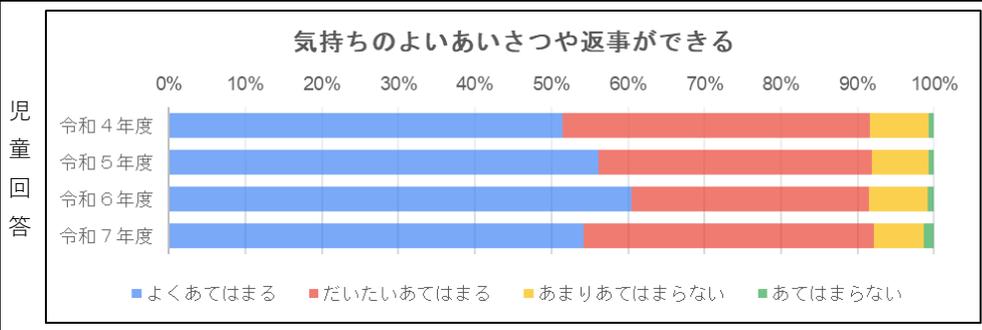
**授業について**

児童は、95%が分かりやすいと回答したが、昨年から肯定的ポイントが減る結果となった。

保護者回答においても、肯定的な意見が減る結果となった。

教職員の回答では、日々工夫をしているが、子どもたちや保護者に分かりやすいと楽しいと伝わるができなかった。

教職員の中では、一公開授業を実施し、研究グループ内で授業を見合い、授業の質向上に取り組んだ。子どもたちがやってみたい、分かりやすいと感じる授業をさらに目指して来年度以降取り組むとともに、小諸市が掲げる授業づくりに寄せて統合する際に差異が生じないように取り組んでいきたい。



## あいさつについて

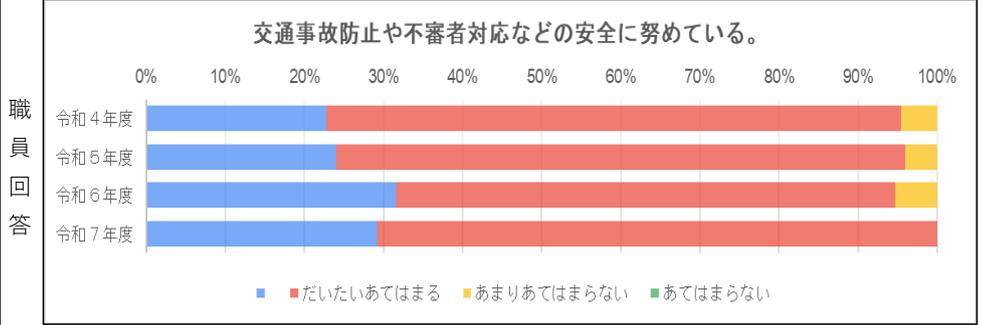
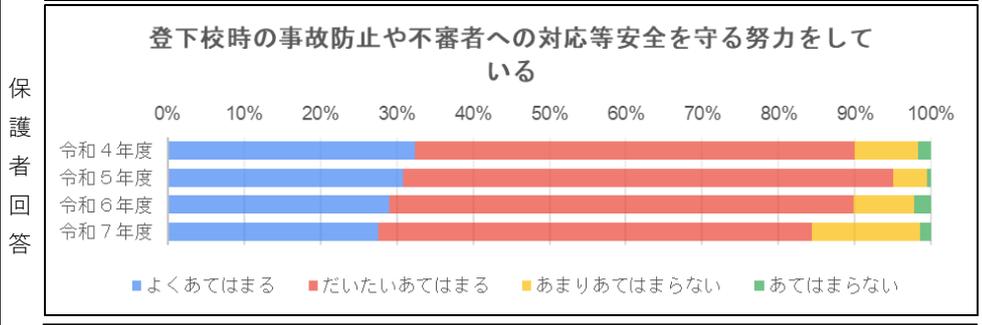
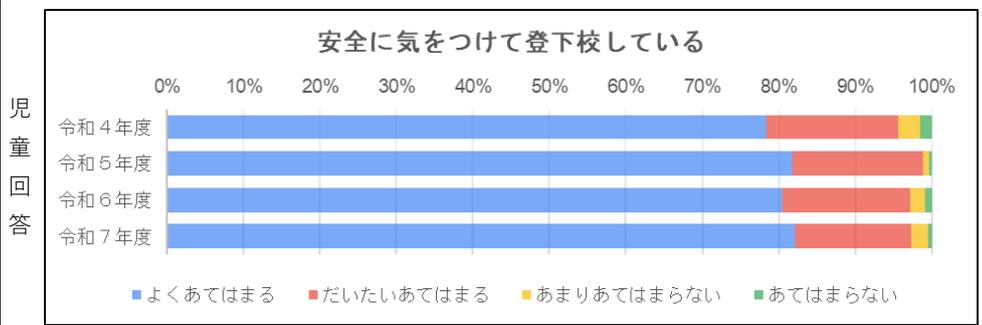
児童について、昨年同様に9割以上の児童があいさつができていると回答している。

保護者からの回答では肯定的意見が微増したが9割を切っている。

職員の回答でも肯定的な意見が増える結果となった。

地域の方からもあいさつがよくできているというお褒めの言葉をいただくように児童が地域であいさつができていることがわかった。

学校では、代表委員会が、登校時に昇降口に立ち、元気なあいさつをしているため、それに返すように登校した児童も挨拶をしている。日々の児童会活動や指導により、校内・校外においても明るいあいさつができるよう今後も取り組んでいきたい。



## 安全面について

児童、職員全てにおいて肯定的意見が9割を超えることができた。

保護者からの回答では、肯定的意見が減る結果となった。

本年度は、安全面に関して、以下のことを行った。

- 子どもと安全づくり隊での地区の危険箇所点検
- 交通安全教室での歩行訓練
- 年3回の避難訓練
- 職員のみで行った不審者対応訓練
- 熊対応の安全教室
- 職員による下校時の安全指導

また、熊やサルの出没等によりスクリレで保護者にお知らせするとともに下校時に職員が巡回指導もあった。

さらに雷雨時に学校に待機させ、お迎えをお願いした日もあった。それを機に、バス会社と今後どのように対応するかについてマニュアルを作成し共有した。

今後も、登下校時の安全について考えていきたい。

児童回答

保護者回答

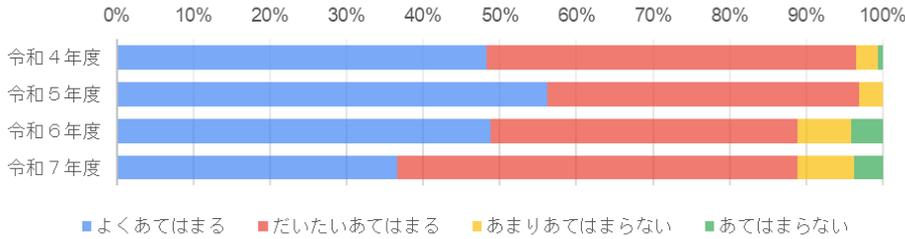
職員回答

### 行事について

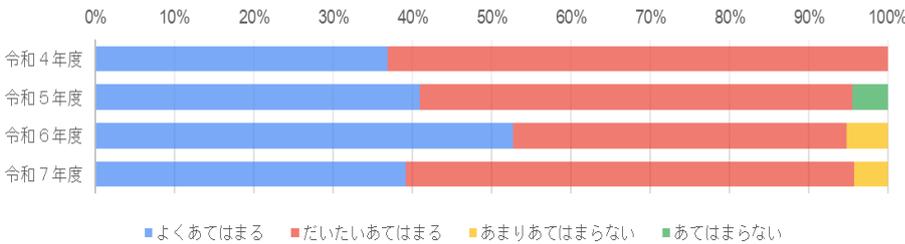
保護者の回答は昨年並みの結果となった。本年度は、昨年度に引き続き、児童が主体となり考えた内容を形にする形で、子どもが活躍する場面が多くなった。それぞれの行事に向かって目標をもち取り組んだ成果といえる。

来年度は、音楽会や運動会など子どもたちがより主体となって活躍できる機会としていきたい。

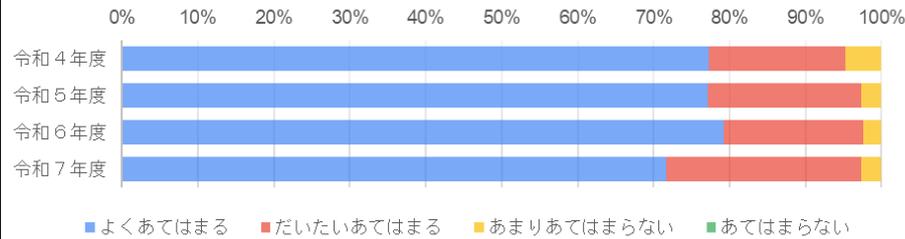
#### 音楽会、運動会、参観日など、工夫して行っている



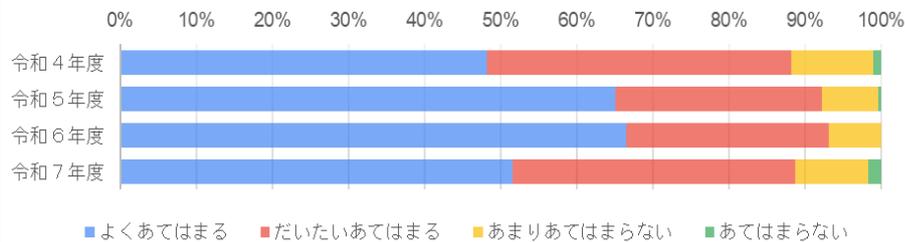
#### 行事や児童会など児童が主体的に参加できるように支援している。



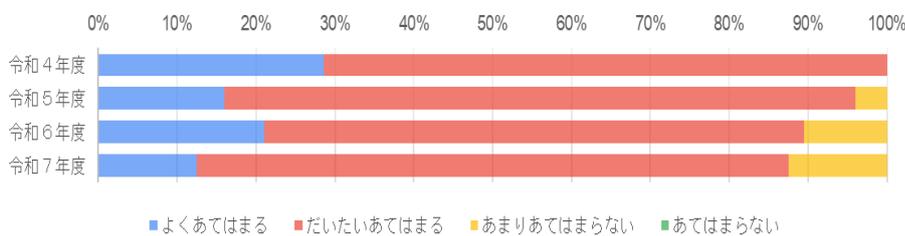
#### 仲良く遊んだり助け合ったりできる友だちがいる



#### ちがう学年の人と、いろいろな活動をなかよくできる



#### 温かく支え合い、学び合える学級になっている。



### 交友関係について

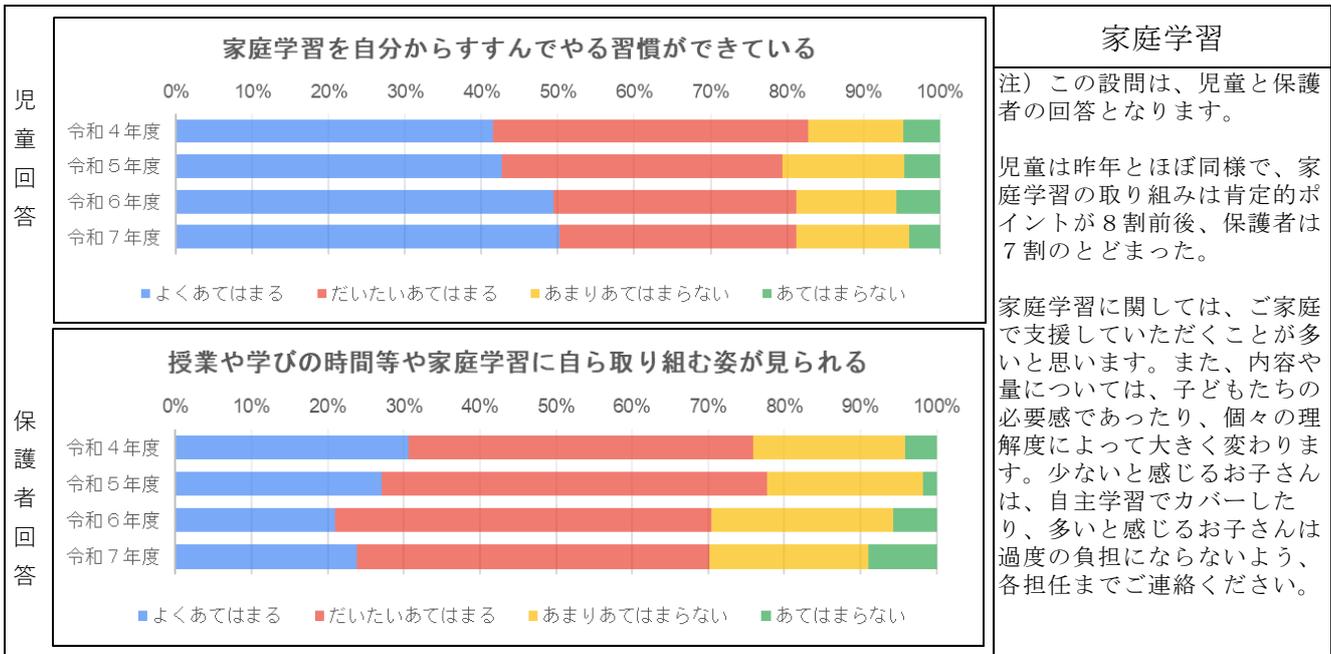
注) この欄は、児童回答が1段目、2段目に2つ並んでおります。

児童の2つのアンケート項目を見ると、“遊んだり助け合ったりできる友だち”が昨年度並みで、学校や学級の雰囲気がいよよくなっている証拠である。また、異学年との活動に関しても若干減ったものの姉妹学級交流の機会を定期的にもっているためよい結果となった。今後も姉妹学級だけでなく異学年の交流が継続できるようにしていきたい。

児童回答

児童回答

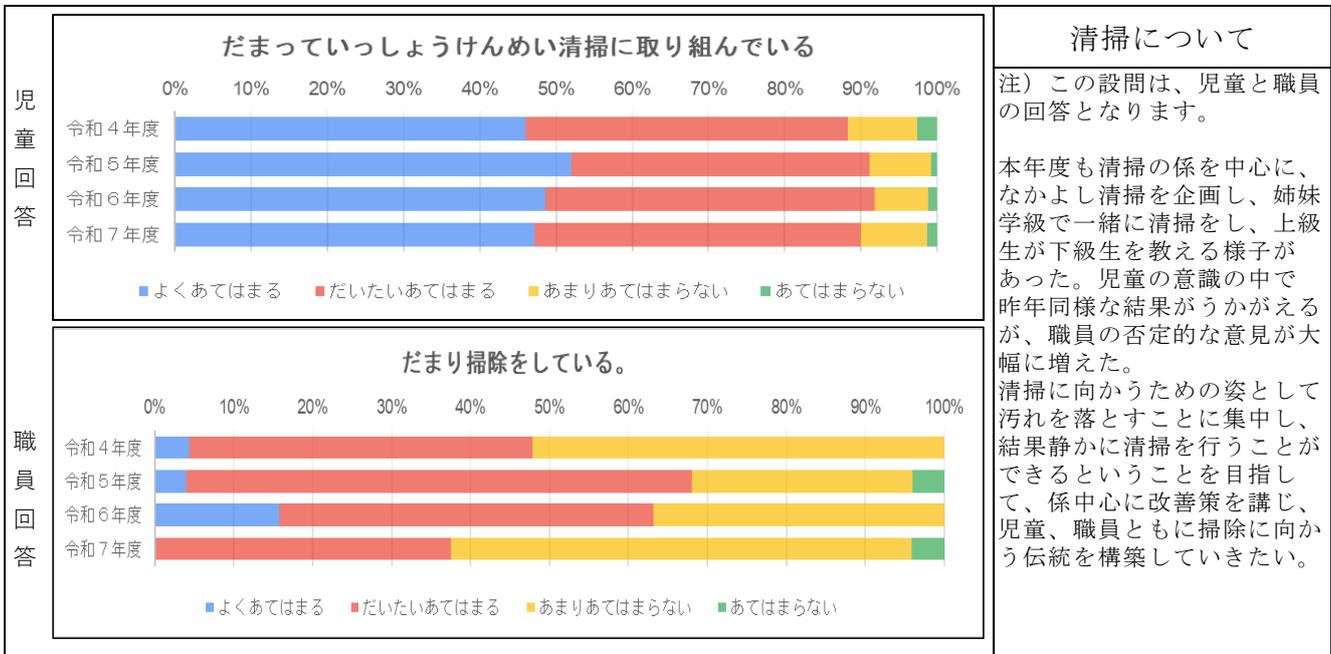
職員回答



注) この設問は、児童と保護者の回答となります。

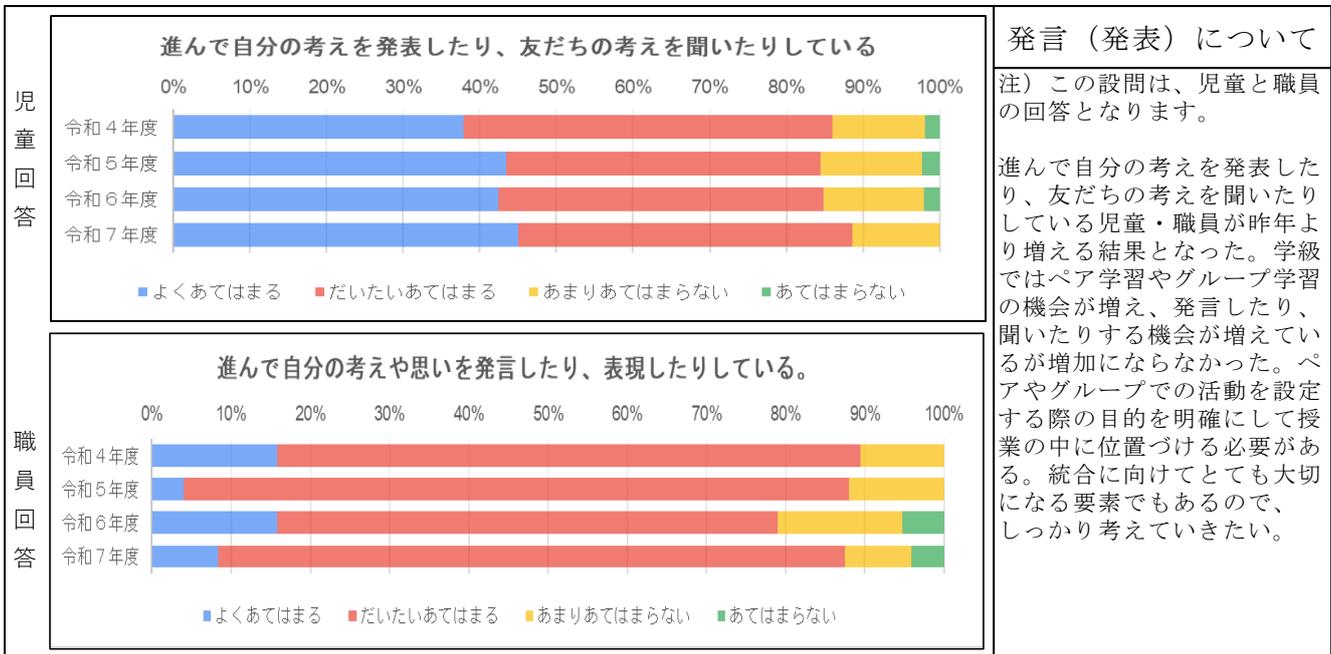
児童は昨年とほぼ同様で、家庭学習の取り組みは肯定的ポイントが8割前後、保護者は7割のとどまった。

家庭学習に関しては、ご家庭で支援していただくことが多いと思います。また、内容や量については、子どもたちの必要感であったり、個々の理解度によって大きく変わります。少ないと感じるお子さんは、自主学習でカバーしたり、多いと感じるお子さんは過度の負担にならないよう、各担任までご連絡ください。



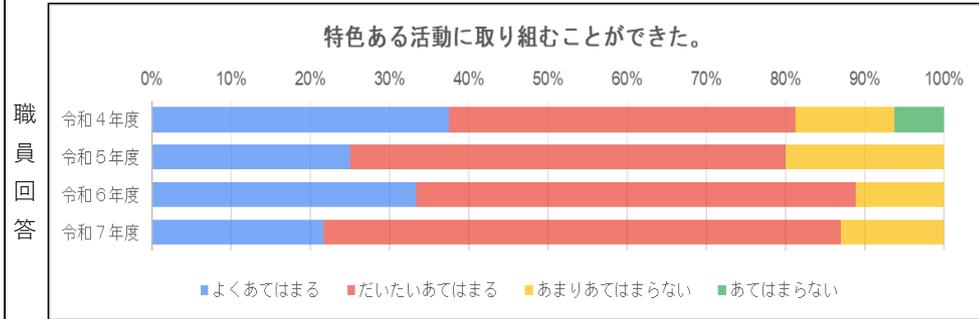
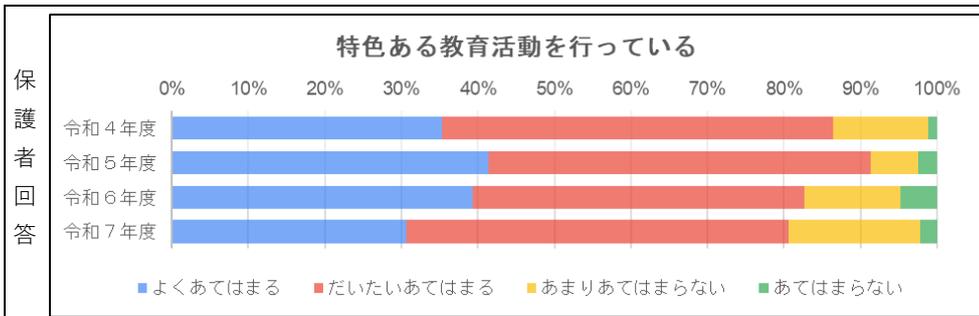
注) この設問は、児童と職員の回答となります。

本年度も清掃の係を中心に、なかよし清掃を企画し、姉妹学級で一緒に清掃をし、上級生が下級生を教える様子があった。児童の意識の中で昨年同様な結果がうかがえるが、職員の否定的な意見が大幅に増えた。清掃に向かうための姿勢として汚れを落とすことに集中し、結果静かに清掃を行うことができるということを目指して、係中心に改善策を講じ、児童、職員ともに掃除に向かう伝統を構築していきたい。



注) この設問は、児童と職員の回答となります。

進んで自分の考えを発表したり、友だちの考えを聞いたりしている児童・職員が昨年より増える結果となった。学級ではペア学習やグループ学習の機会が増え、発言したり、聞いたりする機会が増えているが増加にはならなかった。ペアやグループでの活動を設定する際の目的を明確にして授業の中に位置づける必要がある。統合に向けてとても大切になる要素でもあるので、しっかり考えていきたい。

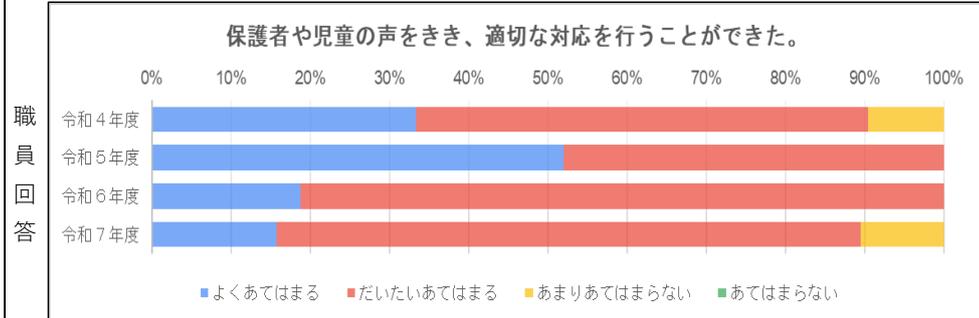
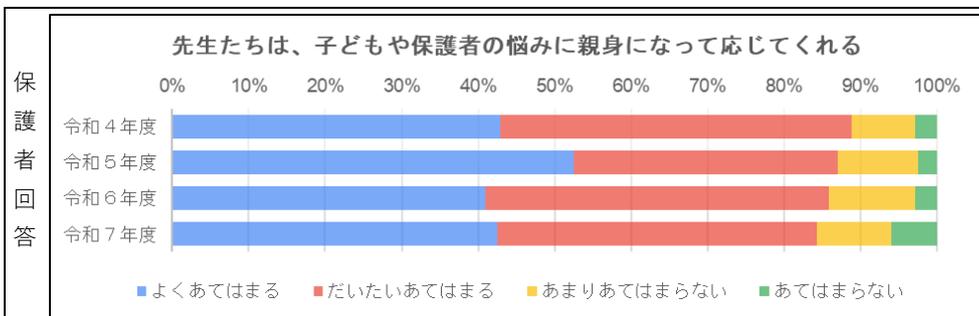


### 特色ある活動について

注) この設問は、保護者と職員  
の回答となります。

保護者・職員とも否定的な意見が増える結果となった。

本年度は、クラブの講座1つ増やして、地域の講師からたくさん教えていただいた。また、3校統合を見据えた小小連携、地域の探検、小商との連携、米作りなどの活動を行った。3学期には水明小伝統のスケート教室も行い、特色を活かしながら教育活動を行っている。来年度も水明地区を題材や人材を活用しながら総合的な学習の時間やクラブ活動を継続したいと考えている。

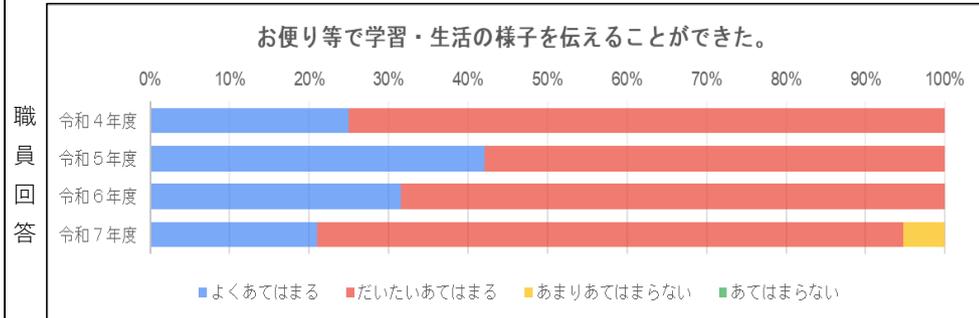
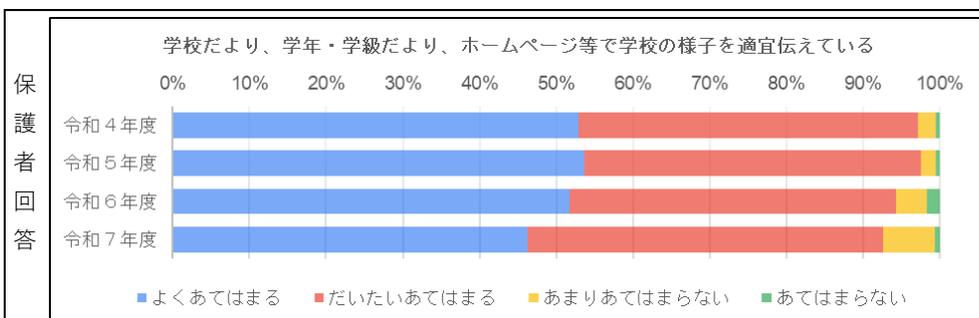


### 学校、家庭の連携について

注) この設問は、保護者と職員  
の回答となります。

保護者からの回答で肯定的回答が9割を下回り、否定的な意見の割合が微増となっている。

職員側も適切に対応できなかったと感じる職員がいるため、この結果を真摯に受け止め、保護者の皆様からの要望をきちんと受け取り、その声に丁寧に対応していくよう改めて職員一丸となって取り組んでいきたい。



### 情報発信について

注) この設問は、保護者と職員  
の回答となります。

保護者からは90%近く肯定的な意見をいただいた。全学年で、週1回の学年便り、またホームページについてはイベントがあった際はなるべく早いうちに掲載することに努めてきた。今後も日常的な情報発信を続けていきたい。